

社会資本総合整備計画書
(日進市)

令和元年12月23日

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月12日

計画の名称	香久山周辺のコンパクト+ネットワークを目指したまちづくり							重点配分対象の該当					
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)												
交付対象	目進市												
計画の目標	<p>目進市は、名古屋市に隣接するとともに、名古屋市と豊田市を結ぶ地下鉄鶴舞線と名鉄豊田線が相互乗り入れし、名古屋都市圏の住宅都市として発展を続けており、今後も住宅需要が見込まれるものと予想される。</p> <p>本地区の周辺地域は、株山特定土地区画整理事業及び宅地造成事業により計画的な住宅地が整備されており、本地区を通過する都市計画道路3・4・307白山黒石線（県道岩崎名古屋線）も整備済みである。</p> <p>このような状況の中で、農地、山林等都市的未利用地が多く残る本地区をそのまま放置すれば、無秩序な市街地の形成が懸念されるため、計画的に土地区画整理事業を施行することにより、周辺地区との整合を図りつつ公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図りつつ公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、健全な市街地の形成を目指すものである。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	514	A	514	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	仮換地の使用収益開始率を0%(R2)から50%(R6)にする。 仮換地の使用収益開始率 使用収益開始した仮換地面積/土地区画整理事業の施行後宅地面積(92,286.10㎡)	0%	0%	50%
2	土地区画整理事業地内の人口を100人(R2)から200人(R6)にする。 土地区画整理事業地内の人口 目進市字別人口を調査する。	100人	100人	200人
3	住民が円滑に移動できる都市空間を創出し、土地区画整理事業により新規に整備される道路延長の割合を0%(R2)から50%(R6)にする。 円滑に移動できる道路の割合 整備済みの道路延長/土地区画整理事業により整備される道路の総延長(39,468.9m)*100	0%	0%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果 備考															R02	R03	R04
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	日進市	間接	日進香久山 西部土地区 画整理組合	—	—	日進香久山西部土地区画 整理事業	都市再生区画整理事業 A= 18.05ha	日進市	■	■	■	■	■	514	1.27	—
											小計						514		
											合計						514		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4		
配分額 (a)	39	43	37		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	39	43	37		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	39	43	37		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-		

※ 令和2年度以降の各年度の決算額を記載。